

明日の空気をつくる。

明日の空気をつくる。

大気社は社会全般を顧客と考えて、全てのお客さまの幸せを願って、

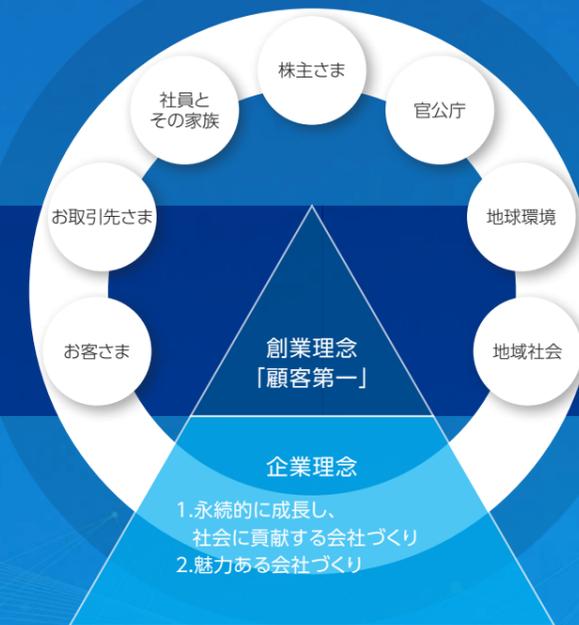
今日も快適な環境をつくり出しています。

人がいるところ、空気があるところ、あらゆる場所が私たちの活躍の場です。

一人でも多くの人の役に立ちたい。一つでも多くの場所を過ごしやすくしたい。

そんな思いを日々、大切にしています。

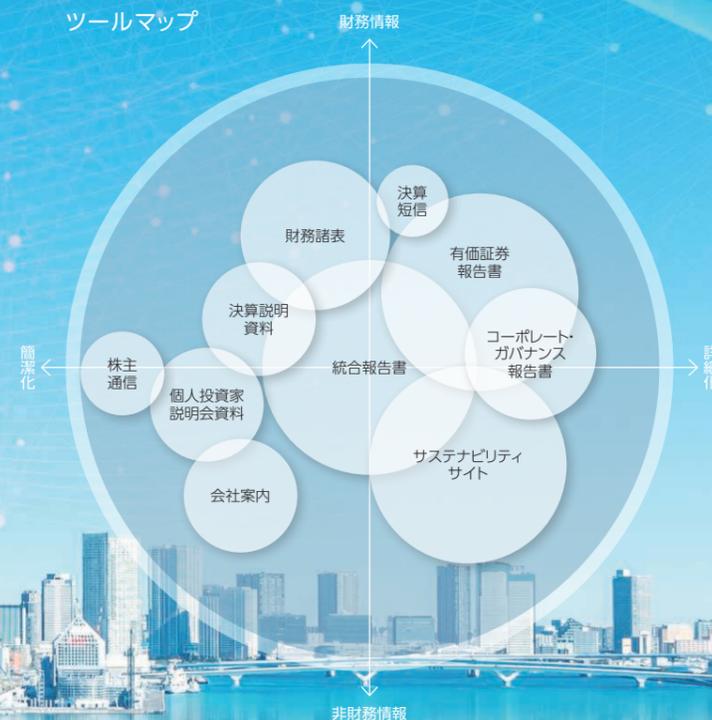
大気社の理念体系



ステークホルダーエンゲージメントの詳細はこちら



ツールマップ



ウェブサイトでの情報開示





Contents

02 大気社の理念体系

イントロダクション

- 05 Business Overview
- 09 財務・非財務ハイライト
- 11 価値創造の歴史

大気社が進むべき道

- 13 トップメッセージ
- 19 価値創造プロセス
- 21 長期ビジョン
- 23 マテリアリティ
- 25 社外取締役座談会

事業戦略

- 33 中期経営計画の振り返りと概要
- 35 事業戦略：環境システム事業
- 37 Value Creation Progress 環境システム事業
新・技術開発センター「TAIKISHA INNOVATION SITE Aikawa」を開設
- 39 事業戦略：塗装システム事業
- 41 Value Creation Progress 塗装システム事業
塗装システム事業におけるデジタル戦略

サステナビリティ

- 43 環境：気候変動の緩和と適応
- 46 環境：低炭素化への取り組み
- 49 人的資本
- 55 人権の尊重
- 56 知的財産
- 57 株主・投資家とのコミュニケーション

ガバナンス

- 59 マネジメント体制
- 61 コーポレート・ガバナンス
- 66 リスクマネジメント
- 69 コンプライアンス

データセクション

- 71 11年間の財務データ
- 73 連結財務諸表
- 76 会社情報・株式情報
- 77 第三者意見



読者の皆さまへ

大気社は、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、当社の中長期視点での価値創造についてご理解を深めていただくため、2021年から統合報告書を発行しています。

2024年は新しい経営体制の発足から1年、長期戦略や、その実現に向けた中期プランにおける取り組みが着実に進捗したことを、経営トップや社員の顔が見える形、肉声を感じられる形でお伝えできるよう工夫しました。また、人的資本をはじめとした非財務情報に関しては、トップコミットメントの中心テーマである「エンジニアリング力の強化」、「グローバル化」が浮き彫りとなるよう、内容の充実にも努めました。

本報告書は、ステークホルダーの皆さまとの建設的対話につながるコミュニケーションツールとして位置づけしており、代表取締役社長をはじめとした経営陣が、積極的に制作に参画しております。また制作にあたっては、サステナビリティ推進担当役員が監修を行っています。

大気社は、これからも皆さまとの対話を通じて、統合報告書の改善・充実を図るとともに、社会への貢献と企業価値向上に努めてまいります。

編集方針

■ 報告対象組織
当社および国内外のグループ会社を対象としています。

■ 報告対象期間
2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の活動を中心に、一部前後の活動を含めて記載しています。

■ 発行日
2024年10月

■ 次回発行予定
2025年10月

■ 参考にしたガイドライン
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」、「環境会計ガイドライン2005年版」、「生物多様性民間参画ガイドライン(2023年)」、GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」、ISO26000、IIRC国際統合報告フレームワーク

■ 制作
株式会社大気社 統合報告書編集委員会

■ 連絡先
株式会社大気社 広報課 TEL.03-5338-5052(代)